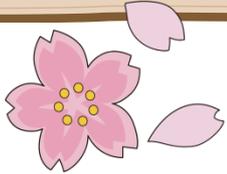


おでかけだより

春号 NO. 45
2015年4月1日

発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』 発行責任者：樋口 蓉子
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>



おかげさまで 10周年を迎えることができました！

理事長 樋口 蓉子

「おでかけサービス杉並」は2005年2月より移動サービス事業を開始しまして、丁度丸10年が経過しました。思い起こせば・・・、2004年6月に「地域で必要とされている活動（事業）を、みんなで一緒にやりたいね」と集まった人たちが、“だれでも、いつでも、どこへでも”をめざして、移動サービス事業に取り組むことになりました。以来、移動サービスに加えて、ゆうゆう館の管理・運営、移動サービス情報センターもび～の運営、ちょこっとサポートNEKOの手、そして去年はオープンリビングけやきの見える家の開設と、事業を拡げてきました。

そこに共通するコンセプトは、「いつまでも元気に、そして体に不自由を感じても、できるだけその人らしく、住み慣れた地域で暮らせるように、誰もが暮らしやすい杉並のまちをみんなで力を出し合っ

てつくっていきます」です。団塊世代が後期高齢者となる2025年を10年後に控え、この4月からは介護保険制度が改正されてこれまで以上に地域の力・市民の力が必要とされる時代になります。公的制度が担うべきサービスの充実とともに、地域に暮らす市民自身が自らの生活実感から必要とされるサービスを創りだしていくことが必要です。ある意味では、それは私たちがこの10年皆様のご支援もいただきながら行ってきた実践でもあります。

さあ、これからの10年、また元気に地域で活動していきます！
皆様の応援をよろしくお願い申し上げます。



新しい福祉車両が動き出しました！

この度、（一社）生命保険協会東京都協会「第38回愛の募金運動」募金より、ハンディキャブ購入資金の助成をいただき、新しい福祉車両を購入しました。この募金からの助成は、2011年のバネット購入資金に続き2回目となりますが、活動当初から使用していたリフトタイプの軽車両の老朽化により応募させていただきました。購入車は検討の結果、室内の快適さと安全性、走りの良さでダイハツのアトレスローパーに決めました。そして3月12日（奇遇にも納車日がバネットの時と同じ）に納車、翌日から運行がスタートしました。これまでのリフトタイプと違い、乗り降りの際スロープの傾斜により車いすが後方に傾きますが、電動の後退防止ベルトとドライバーとで安全にサポートしますのでご安心ください。車いすの横に補助いすがありますので、付添の方2名の乗車が可能です。3月14日の外出企画へもこの車で出かけ、高速道路での走りも体感しました。アトレーで皆様のおでかけをサポートさせていただきます。どうぞご利用ください。



※愛の募金運動は、東京都協会が職員の方々の協力のもと1977年度から毎年実施し、今年度は1,226万円余の募金が寄せられたそうです。おでかけサービス杉並を含め都内5つの団体が助成を受けました。



「葛西臨海公園」に行ってきました!



杉並区社会福祉協議会から助成を頂いて実施している外出企画、今年度第2回目を3月14日に行いました。行先は葛西臨海公園。巨大水槽から次々とマグロが消えてしまったことでニュースとなっている、あの水族館を見物しました。当日は総勢19名、各参加者のお宅に車でスタッフがお出迎えをし、首都高速を一路東へ。隅田川を渡り、荒川を越えた河口に葛西臨海公園があります。少し曇り空ではありましたが、風もなく、広い園内をそれぞれのお体の状態に合わせ、スタッフが付き添いながら水族館へ向かいました。電動車いすで颯爽と駆けるMさんには、追いつくのが大変です。館内のレストランで昼食の後、お目当てのマグロの水槽へ。たった二尾となってしまい、それでも健気に泳ぐマグロにエールを送り、よちよち歩きの可愛らしいペンギンを愛で、売店でお土産を買われる方もおられました。展望ハウスから隅田川に架かるゲートブリッジを遠望したあと、水上バスに乗船してお台場に向かいました。この水上バスは車いす用の乗降リフトが付いており、乗船できる台数に制限はありますが、係りの人が乗降をサポートしてくれます。船からの眺望を楽しみ、お台場の栈橋で今日のツアーの無事終了を喜び合って解散となりました。お台場からは、先行していた車に再び乗りこみ杉並のご自宅まで。参加された皆様の楽しそうな笑顔を拝見し、同行したスタッフにとっても嬉しい一日となりました。(樋口 厚)



「オープンリビング けやきの見える家」

「西荻北・善福寺 暮らしのしくおでかけマップ」ができあがりました!

昨年末から、地域の皆様と一緒に「おでかけマップ」づくりを行ってきました。このマップには、気軽に集まれる集いの場や、施設、活動の場所などを落とし込み、紹介しています。まちの風景を描いたイラストもふんだんに盛り込み、とても明るい素敵なものに仕上がりました。3月19日(木)、「オープンリビングけやきの見える家」の開催日に、このマップのお披露目をひらき、ゲストとして、まちの昔の様子をご存知の町会の方にお越しいただきました。古い歴史と当時の庶民の生活についての暖かい語りにおおぜいの参加者が耳を傾けました。また、地域サロンをされている方々が、それぞれの特徴をわかりやすく説明してくださり、まちのあちらこちらに、和やかに過ごせるおでかけ先があることがわかりました。思い起こせば、マップをつくっている間、関わってくださった皆様が、それぞれにまちの魅力を語ることで、愛着を深めていったように思います。そして、これをきっかけに新しい人の繋がりがたくさん生まれました。できあがったマップはさらに、人を繋げていきます。マップには一本一本の道路が網羅されていますので、どこに何があるのか伝える時の話の助けになります。そして、マップを片手に一緒にまちを歩く企画も始まります。見頃の花を見ながら、きっとまた、たくさんのお話がはずむことでしょう。



1月23日に運転協力員15名が参加し安全運転ミーティングを行いました。今回のテーマは「トラブル」について。2011年から昨年10月までに起きた様々な事例をカテゴリ毎にまとめ、分析を行いました。その中で特に多かったのが迎車時間や予約に関するものでした。ドライバーとはお互いに前日確認をしているのですが利用者の方とは行えていないのが現状です。そこをどうしていくのか課題が残ります。

コーディネーター 野口 恭子



コーディネーター
つうしん